



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

# 2024年度 標準化推進部会 全体活動紹介

2025年4月18日  
標準化推進部会  
副部会長 関 公二

- **体制**
- **事業計画と成果の概要**
- **各委員会の活動計画と成果の概要**
  - **国内標準化委員会**
  - **国際標準化委員会**
  - **普及推進委員会**
  - **安全性・品質企画委員会**
- **2025年度の取り組み**

# 体制

|             |      |       |                   |
|-------------|------|-------|-------------------|
| 標準化推進部会     | 部会長  | 湯澤 史佳 | キヤノンメディカルシステムズ(株) |
| 〃           | 副部会長 | 関 公二  | 日本アイ・ビー・エム(株)     |
| 〃           | 副部会長 | 光城 元博 | 富士フイルム(株)         |
| 〃           | 副部会長 | 柘田 竜司 | コニカミノルタ(株)        |
| 〃           | 運営幹事 | 田中 利夫 | キヤノンメディカルシステムズ(株) |
| 国内標準化委員会    | 委員長  | 田中 利夫 | キヤノンメディカルシステムズ(株) |
| 〃           | 副委員長 | 光城 元博 | 富士フイルム(株)         |
| 国際標準化委員会    | 委員長  | 岡田 真一 | 日本電気(株)           |
| 〃           | 副委員長 | 井出 大介 | 日本アイ・ビー・エム(株)     |
| 普及推進委員会     | 委員長  | 田中 宏明 | 富士通Japan(株)       |
| 〃           | 副委員長 | 福間 衡治 | 日本電気(株)           |
| 安全性・品質企画委員会 | 委員長  | 岡田 真一 | 日本電気(株)           |
|             | 副委員長 | 金光 暁  | 富士通Japan(株)       |

# 事業計画と成果の概要

## 事業方針

(背景)

政府の「医療DX推進本部」は2023年6月に「**医療DXの推進に関する工程表**」を公表し、首相から関係閣僚に対して、医療界や産業界と一丸となって医療DXの実現に向けて取り組むことが指示

医療DXの実現には、保健・医療・介護の各段階において発生する情報が安全かつシームレスに連携することが必要であり、関連する業務やシステム、データの**共通化・標準化**を図ることが不可欠

各種情報が国境を越えて活用される時代においては、リスクマネジメント等を含めて**グローバルな対応**が求められ、国際標準と国内要件との整合性確保等のために国際標準化団体との調整も重要

- 1)行政・学会・関連機関・団体等と連携した標準化の推進
- 2)JAHIS標準類制定時の適正な審議と制定後の有用性の維持管理
- 3)国際標準と日本の要件や状況との整合性の確保および国際標準化提案
- 4)医療情報関連標準類の普及活動の推進

## 標準化推進部会本委員会

**JAHISとしての標準化に関わる活動の基本方針を策定する**

- (1) JAHIS標準化施策の検討と推進**
- (2) 関連省庁の事業・委員会への参画支援による標準化の推進**
- (3) 関連各外部団体、JAHIS内関連部門との連携による推進**

## (1) JAHIS標準化施策の検討と推進

- 標準類制定活動で制定されたJAHIS標準類として、**JAHIS標準6件、JAHIS技術文書5件**
- JAHIS標準類の制定に関する規程、標準類テンプレートおよび申請票の改訂**

## (2) 関連団体との連携による推進

### 国内

- HELICS協議会の理事会、運営会議、標準化委員会、広報委員会へ継続して部会メンバを派遣し活動を行った。

### 海外

- ISO/TC215、HL7、DICOM、IHE等のJAHIS会員が深く関係する分野の国際会議に参画し、国際標準類制定に際し日本および業界として望ましい内容を国際標準に反映していくとともに、不利益な方向に進まないよう意見答申を行った。

# 各委員会活動の活動計画と成果の概要

- 国内標準化委員会
- 国際標準化委員会
- 普及推進委員会
- 安全性・品質企画委員会

# JAHIS 活動計画（国内標準化委員会）

国内標準化委員会は各部門の委員会と連携して以下の計画を遂行する。

## （１）JAHIS標準類の審議

- JAHIS各委員会から提案される標準化項目の審議を通して、JAHIS標準類制定作業が円滑かつ適切に行われるよう提言する
- 制定後3年を経過した標準類の改定の必要性の議論と改定に関連する部会・委員会への働きかけ改定のプロセスを見直し、より分かりやすい情報発信を行う
- JAHIS標準類に付与するObject ID(OID)の管理

## （２）標準化に関わる規程・ガイドライン等の整備

- 標準類の制定が適切かつ効率的に行われるよう、制定規則等の見直しを随時行う
- JAHIS標準類文書の品質向上施策として、外部業者を活用した校正・校閲

## （３）HELICS協議会関連活動の推進

- HELICS協議会関連活動の支援
- HELICS指針審査に当たって、各部門や標準化エキスパートの意見を集約し、JAHISとしての見解の取りまとめ

## （４）標準化マップに基づく標準化の推進

- 標準化作業項目の進捗チェックおよび促進
- 政府の医療DX推進施策や国内外の動向、JAHIS内の保健医療福祉情報基盤検討委員会等と連携し、標準化マップに反映
- 見直しは国内標準化委員会にて行う

## （５）標準化にかかわる人材の育成

- 会員各社に対しての新規参加、若返りの働きかけと新規要員の育成

## （１）JAHIS標準類の審議、検討

-制定された標準類

JAHIS標準：6件、JAHIS技術文書：5件 合計：11件

### ①JAHIS 標準

24-001 JAHIS ヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.3.0

24-002 JAHIS HPKI対応ICカードガイドラインVer.3.1

24-003 JAHIS 臨床検査データ交換規約Ver.5.0C

24-004 リモートサービス セキュリティガイドラインVer.4.0

24-005 JAHIS「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイドVer.5.0（MDS/SDS）

24-006 JAHIS保存が義務付けられた診療録等の電子保存ガイドラインVer.5

### ②JAHIS 技術文書

24-101 JAHIS 看護データセット適用ガイド 看護行為編Ver.1.1

24-102 JAHIS 院外処方箋 2次元シンボル記録条件規約Ver.1.9

24-103 JAHIS 院外処方箋 2次元シンボル記録条件規約Ver.1.10

24-104 JAHIS 電子版お薬手帳データフォーマット仕様書Ver.2.6

24-105 JAHIS 電子処方箋運用における薬局レセコンと電子薬歴システムの連携仕様書Ver1.1

## （2）HELICS協議会関連

-採択された指針：3件

HS041 透析情報標準HL7 FHIR記述仕様 [日本透析医学会]

HS042 個別医薬品コード（YJコード）リスト

[医薬品情報標準化推進協議会、(一社)くすりの適正使用協議会]

HS043 トークンを用いたクラウド型情報交換技術仕様 [日本IHE協会]

-厚生労働省標準規格としての認定：4件

HS040 製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書ガイド

[日本画像医療システム工業会、保健医療福祉情報システム工業会]

HS041 透析情報標準HL7 FHIR 記述仕様 [日本透析医学会]

HS042 個別医薬品コード（YJコード）リスト

[医薬品情報標準化推進協議会、くすりの適正使用協議会]

HS043 トークンを用いたクラウド型情報交換技術仕様 [日本IHE協会]

## （3）標準化マップに基づく標準化の推進

制定、改定済みのJAHIS標準類を整理、標準化マップを更新した。

## （4）標準化にかかわる人材の育成

各部会推薦メンバ、標準化エキスパートに入れ替えにより、委員会メンバの一定の若返りをはかりつつ標準化作業に理解を持つ要員の育成に努めている。

## （5）その他

JAHIS標準類テンプレートおよび申請票の見直しを行い、あわせて、関連するjahis規程の改定案を作成した。

- 国内標準化委員会
- 国際標準化委員会**
- 普及推進委員会
- 安全性・品質企画委員会

国際標準化委員会は、JAHISの標準化活動の国際対応窓口として、海外標準化団体との調整、国際標準の国内への展開、日本の標準の海外への展開等を担い、下記業務を遂行する

## **(1) 国際標準化活動**

## **(2) 国際標準化動向の会員への情報提供・啓発**

## **(3) 各部会・委員会と連携した国際標準の国内展開とその普及および日本からの国際標準化提案の推進**

## （1）国際標準化活動

### ①ISO/TC215関係

総会、個別作業部会（WG1,2,4,JWG7）へのエキスパートの参画

### ②HL7関係

総会、HL7 FHIR DevDays へのエキスパートの参画

### ③DICOM関係

本委員会、作業部会（WG13、WG26）のエキスパートの参画

### ④IHE関係

International、臨床検査・病理ドメイン、内視鏡ドメイン、放射線ドメインへのエキスパートの参画

### ⑤HIMSS

HIMSS USA、Europeへのエキスパートの派遣

### ⑥RSNA

年次総会へエキスパートの参加、情報収集と共有

## （2）国際標準化動向の会員への情報提供・啓発

- ①JAHIS内各種セミナー、HL7セミナー、各種学会活動等への協力を通じて、国際標準の情報提供および普及推進を図った。

## （3）各部会・委員会と連携した国際標準の国内展開とその普及および日本からの国際標準化提案の推進

- ①定期的な国際標準化委員会の開催を通じて各種国際標準類に関する対応の意識共有・対策検討を推進するとともに、JAHISとしての国際標準化のあり方や体制等について検討した。
- ②JAHIS内各部会・委員会と連携し、わが国発の国際標準提案を推進した。

- 国内標準化委員会
- 国際標準化委員会
- 普及推進委員会**
- 安全性・品質企画委員会

# JAHIS 活動計画（普及推進委員会）

これまで各会員の営業担当者が医療情報の標準化に対する取り組みを理解し、積極的に提案できるような普及活動を行ってきた。

特に**標準化関連用語のパンフレット**や**各種標準類の用語解説**と標準化関連用語やシステムの関連性を俯瞰した**オーバービューチャート**を発行し一定の成果はあった。

また、各会員の営業担当者へのアンケート結果から、**若年層の標準化関連用語に対する理解度が極めて低い**ことが顕著に示された。

そのため業務の中核をなす**中堅層への知識底上げが若年層への認知向上、全体の理解度向上**につながると考え、営業経験5年目程度向け基礎セミナー開催を実施してきた。

## 本年度の活動

- (1) 標準化の普及推進に向けた人材育成セミナーの実施
  - 事業推進部事業企画委員会とのセミナー共同開催
- (2) JAHISサイトにおける標準化関連用語の最新化
  - 標準化関連用語のフォローアップ・標準類に関する各会員接点の強化の検討
- (3) 標準化普及の推進指標の検討
  - 導入実績および事例に基づく普及の推進評価ポイントの検討
- (4) アンケートの実施
  - セミナー開催後のアンケートによる普及状況の経年変化の調査

委員長の交代を受け、新たなメンバーを募集。3社7名 内女性3名のメンバーが活動中

## （1）キックオフ

これまでの活動の共有と今後の方向性を議論するキックオフ会議とを開催  
標準化に対する疑問や思いをディスカッション

## （2）オーバービューチャートの改版（仕掛中）

医療DX2030を意識、保険医療福祉療育全体を対象とし、今後構築・推進されていく、「全国医療情報プラットフォーム」をベースに標準規格の具体的なユースケースを会員に共有できることを目指す

## （3）医療標準化セミナーの企画（仕掛中）

2025年度に開催予定、時勢にあった内容、形態、対象者を再検討し、より普及につながるセミナーの企画を予定

- 国内標準化委員会
- 国際標準化委員会
- 普及推進委員会
- 安全性・品質企画委員会**

# **JAHIS 活動計画（安全性・品質企画委員会）**

患者安全に関する国際標準規格の策定に参画し、その動向を踏まえて、国内の規制・管理方法、およびJAHISとしての対応について、関連組織・部署との連携を行う。

- （１） 患者安全に関する国際標準規格案策定への対応**
- （２） 国内の規制&管理方法、およびJAHISの対応について、関連組織・部署との連携する**

## （1）国際規格の開発

- 規格開発：ISO/IEC TS 81001-2-1, IEC TS 81001-2-2, IEC 62304,63450
- 国際投票：ISO TS 82304-2, ISO 81001-1, ISO 81001-3-1,  
ISO 81001-5-2,ISO TS 6268-1,ISO TS 6268-2,  
ISO TS 6268-3,ISO/IEC 80001-2series

## （2）関連団体との整合

- （1）の国際規格の開発につき、IEC SC62A/JWG3&7 及びISO TC210/WG1 国内対策委員会と連携、日本の意見としての整合を図った。

## （3）医療安全の普及推進活動

- (1)(2)の最新動向も含め、医療安全の普及推進活動として  
JAHIS医療情報システム入門の教育コース「患者安全に関するリスクマネジメント」  
講義を実施

# 2025年度の取り組み

## 【背景】

2024年6月に閣議決定された「**経済財政運営と改革の基本方針2024**」では、医療データを活用し、医療のイノベーションを促進するため、必要な支援を行いつつ、政府を挙げて医療・介護DXを確実にかつ着実に推進することが改めて明記された。

具体的な施策として、「**医療DXの推進に関する工程表**」に基づき、「**全国医療情報プラットフォーム**」を構築するほか、**電子カルテの導入や電子カルテ情報の標準化、診療報酬改定DX、PHRの整備・普及**を強力に進める

## 【今後の取り組み姿勢】

- ①行政・学会・関連機関・団体等と連携し標準化を推進
- ②JAHIS標準類制定時の適正な審議と制定後の有用性の維持管理
- ③国際標準と日本の要件や状況との整合性の確保および国際標準化団体との調整、日本からの標準化

## 提案

- ④医療情報関連標準類の普及活動の推進

## 最後に・・・

**標準化の取り組みについては、会員各社様の積極的な活動へのご参加・ご支援が必要です。引き続きご協力をお願いいたします。**



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

**ご清聴ありがとうございました**